

令和7年度 第2回 笠岡放送番組審議会 議事録

1. 日時 2025年8月19日(火) 14:00~15:00
2. 場所 ファンアイク2階大会議室
3. 出席者 審議委員：佐藤 芳子委員長、水川 創壘副委員長、鈴木 保夫委員、
小見山 鶴江委員、中濱 康幸委員、佐藤 賢次委員、友原 俊夫委員

笠岡放送：枝木 亮大 代表取締役社長、FM 編成担当 津雲 あおい
報道課 河部 隆行課長、編成制作課 池田 麻衣子課長、神田 美子

4. 議事

(1) 自主制作ニュース・番組の審議

佐藤 芳子委員

【漢字クイズ】

- ・忘れていた漢字もあり、クイズ方式で楽しめてとても良い。

鈴木 保夫委員

【私のまちの社長さん】

- ・出演していたね、と色々な人に声をかけられ、ラジオとは違った媒体の強さを感じた。

【ニュース】

- ・民放とはまた違った、ローカルならではの優しく訴えるようなわかりやすい報道が良い。

佐藤 賢次委員

【ニュース（戦後80年 14歳で満州に）】

- ・戦後80年の特集で満州に行った方の満州での生活や後世に伝えたい思いなどを話しているインタビューを見て感動した。
- ・岡山弁で話している様子が、当時の話をよりリアルに感じさせた。戦争は絶対にしてはいけないということが胸に刻まれた。
- ・8月15日にこのニュースをする、という企画が大変意義深いなと感じた。スタッフにあっばれをあげたい。

【ニュース（お盆に関する寺院の伝統行事や各地区の夏祭り）】

- ・今まで知らなかった地区の伝統や歴史、文化がたくさん知れたのでこれからもできる範囲で取り上げてほしい。
- ・幻想的でそれぞれの地区の盛り上がりを感じることができた映像だった。タイムリーで良いニュースだった。

- ・インタビューは可能な限り、取材の意図に沿った内容であってほしい。その方が視聴者にも理解してもらいやすいのではないかと思う。

中濱 康幸委員

【ニュース】

- ・ニュースゆめネットの良さはローカルな話題を取り上げること。知らなかった地域の知らなかったことが放送されるので勉強になる。
- ・取材の現場に来ていた人たちは映ったかもしれない、という事で一喜一憂しながら見ていると思う。これからも継続的に地域の話題を取り上げていってほしい。
- ・取材に行く際は、笠岡放送側で調べて行っているのか、地域の方に依頼されて取材に行く方が多いのか比率は？

<河部課長回答>

- ・全体的にみると地域の方に依頼されていくことの方が多。しかし現場で仕入れる情報も多くあるので行ったことがないイベント等の話を聞いた際には積極的に取材の許可を取ることもある。

小見山 鶴江委員

【ニュース】

- ・地域の細かい話題を取り上げていて良いと思う。
- ・お祭りのニュースでアナウンサーの声のトーンが暗く、楽しいニュースのはずなのにあまり楽しそうに感じられなかった。

水川 創壊委員

【ニュースピックアップ】

- ・身近な情報が得られて良いと思った。家族が出ていると見る機会も多くなるだろうと感じた。
- ・一部のニュースで、アナウンサーの声のトーンが暗いところがある。

友原 俊夫委員

【ニュース】

- ・他の地区の色々な祭りを見ることができて、参考になるなと思った。
- ・秋になれば秋祭りもあるので他の地区の祭りを見つつ、自分のところも盛り上げられるよう参考にしていきたい。

以上